

平成28年度 事業報告

【当協会を取り巻く環境】

平成28年度は、「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」の一部改正により乳がん検診と胃がん健診項目の見直しが行われたほか、12月にはがん対策基本法の改正が行われるなど変化の年となりました。胃がん検診の見直しでは当面の経過措置があるものの胃内視鏡検査が導入され、対象年齢が50歳以上、検診間隔は2年に一度の隔年実施となりました。一方、乳がん検診では従来からの視触診を「推奨しない」任意とし、視触診を実施する場合は「乳房エックス線検査と併せて実施すること」と、実施上の留意点が示されるなど従来の検診体制に大きくかわる改正となりました。

また、特定健診・保健指導、労働安全衛生法における健康診断については、健診項目や事後指導などについて見直しの検討会が開始され、平成30年度までを目標に見直しが行われているところです。

このような状況の中、当協会においては、当協会の基本方針である「学校や地域・職域の健康診断及び特定保健指導を通して、健康状態を把握し生活習慣の改善や疾病を予防する機会を提供」し、「健康診断・保健指導から得られた情報を調査分析し、研究結果を学校や地域・社会に情報発信」に努めるとともに、これらを通して「生活習慣病やがんの予防、生活習慣の改善による健康づくりを推進し、県民の心とからだの健康の保持及び増進と健康な生活の実現」を推進いたしました。

公益事業1：心とからだの健康保持及び増進事業

1 普及啓発活動

<県民に向けた情報発信>

県民への普及啓発活動は、時代背景や地域特性を踏まえて、新しい情報を的確に提供する必要のあることから、ホームページや新聞・イベントなどを通して①生活習慣病やがんの予防に関する情報 ②健康診断の受け方や数値の見方・活用方法に関する情報 ③生活習慣の改善方法に関する具体的な情報を発信し、県民の健康意識の向上と心とからだの健康の保持及び増進を推進いたしました。特にホームページでは、個人や団体に向けた健康診断の種類や項目の解説や新しい情報の提供を行い、申し込みから健診結果の説明、健康増進・保健指導の実際まで具体的な情報を常時提供し、県民の健康保持及び増進に役立ててもらえるよう努めました。

<県・市町・企業・各種団体との連携による啓発活動>

当協会は、生活習慣病やがんの予防に関する啓発活動・調査研究事業に取り組む民間機関として、県・市町・企業、香川たばこの害から健康を守る会・ピンクリボンかがわ県協議会・がん患者会ネットワーク香川、香川県産業看護研修会ほか各種団体などと連携することで、より効果的な啓発活動を目指し、以下の普及啓発活動に取り組みました。

(1) タバコに関する普及啓発活動

① 世界禁煙デー香川フォーラムの開催

当協会に事務局を置く「香川・タバコの害から健康を守る会」と共催し、「世界禁煙デー香川フォーラム2016」(平成28年5月31日(火)18:00～ 於:瓦町FLAG 8階多目的スタジオ)を開催しました。禁煙活動を推進する県内の医師や看護師、教育関係者や企業、マスコミ関係者など約100人の参加者に向けて、県内の禁煙外来ネットワークづくりに関する講演や禁煙・防煙 出前講座の実施状況報告を行うとともに関係者の交流を図りました。

② 禁煙・防煙 出前講座及び禁煙相談の開催

県内全域の小・中学校、地域・職域を対象にした禁煙・防煙 出前講座を行ったほか、高松市が実施する「平成28年度高松市禁煙相談・出前講座」に協力し、講師派遣の連絡やアンケート調査等を行いました。小中学生のアンケート結果を禁煙・防煙対策に活用していく予定です。

③ 「禁煙外来ネットワーク」への協力

県内の禁煙外来に向けてアンケート調査を行い、要望が多かった「禁煙外来ネットワーク」の発足(会長 青江基)及び講演会の開催について協力しました。

第1回講演会 日時:平成28年12月10日(土)15:00~17:00

会場:高松センタービル605会議室

特別報告「香川県内禁煙外来アンケート調査報告」

講師:荒川裕佳子先生(KKR高松病院呼吸器内科)

記念講演「禁煙指導に使える最新の知識—脳科学と心理学の進歩より」

講師:川井治之先生(岡山済生会病院 診療部長)

第2回講演会 日時:平成29年3月25日(土)15:00~17:00

会場:県社会福祉総合センター第1中会議室

禁煙外来紹介「禁煙外来の実際」

講師:野崎士郎先生(のぞき内科循環器科クリニック院長)

特別講演「医療者のためのスキルアップ講座」

講師:谷口千枝先生(椋山女学園大学看護学部助教)

④ 第12回日本禁煙学会の開催に向けた取り組み

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて受動喫煙防止の議論が高まる中、2018年11月に高松市で「第12回日本禁煙学会学術総会(会長 久米川啓 県医師会会長)」が開催されます。当協会は、学会事務局として開催の準備を行うとともにタバコの害に対する正しい知識の普及を図り、学会の成功につなげます。平成28年度は「第12回日本禁煙学会学術総会実行委員会」の発足と組織作りに努めました。

禁煙・防煙 出前講座の実施状況

日時	場所	対象	講師
5月26日(木)13:30～	香川県警	喫煙者 60人	荒川裕佳子
6月1日(水)13:30～	みねやま分校	生徒・教職員 15人	森田純二
6月14日(火)13:30～	日立製作所四国支社	喫煙者 35人	＃
6月17日(金)14:30～	塩江中学校	全校生、教職員、保護者 90人	二宮先生
6月17日(金)16:00～	香川県農協東共済事務センター	男性 10人、女性 30人受動喫煙	森田純二
6月30日(木)15:00～	木太町環境業務センター4階大会議室	高松市の環境業務課職員 100人	＃
7月5日(火)14:40～	紫雲中学校	1年 223人、教員 15人	＃
7月6日(水)13:45～	香東中学校(円座)	1年 249人	二宮昌樹
7月6日(水)14:40～	竜雲中学校	1年 275人	森田純二
7月8日(金)14:25～	屋島中学校	1年 157人	二宮昌樹
7月12日(火)13:00～	丸亀ロータリークラブ	会員 30人	森田純二
7月21日(木)19:30～	高松市スポーツ推進委員連絡協議会	推進委員 100人	＃
7月23日(土)13:30～	東かがわ市文化交流センター	市民 300人	＃
8月4日(木)14:00～	保健指導実践者育成研修会	県・保険者協議会 100人	＃
8月15日(月)14:00～	高松市 禁煙指導者講習会	高松市禁煙指導者	荒川裕佳子
8月16日(火)14:00～	健康大学東かがわ市	市民	森田純二
8月30日(火)14:00～	香川県市町村職員共済組合	喫煙者 20人	＃
9月7日(水)19:20～	工芸高校(夜間学生)	16～18歳	＃
11月25日(金)14:25 ～	太田中学校	全学年、教職員 782人	二宮昌樹
12月6日(火)13:30～	さぬき市立さぬき南中学校	1年生 143人、教職員 10人	森田純二
12月13日(火)13:25 ～	三豊市立詫間中学校	3年 118人	＃
12月20日(火)11:30 ～	香川第一中学校	1年 213人	二宮昌樹
1月18日(水)13:50～	高松市立浅野小学校	5,6年教職員保護者 230人	吉川武志
2月7日(火)13:45～	屋島東小学校	25人	森田純二
2月23日(木)14:00～	多度津町立白方小学校	6年 11人	＃
3月1日(水)13:30～	香川県信用組合	新入社員 10名	＃

(2) 子宮頸がんに関する普及啓発活動

上皮内がんを含めた子宮頸がんは20歳代の若年層で急速に増えていることから、若い世代への普及啓発活動として高松市が実施する「お・と・な力アップ講座」と連携し、講師派遣や教材等提供を行いました。

お・と・な力アップ講座開催状況

実施日	実施先	講師	人数
8月18日(木)	香川県高等学校養護学校 教諭(部会)	塩田先生	67人
9月30日(金)	高松大学発達科学部(授業)	露木先生 (藤川先生)	115人
10月5日(水)	香川大学医学部3年生(任意)	露木先生・ 川崎先生	35人
11月7日(水)	香川県産業保健推進センター 行政保健師 かがわ衛生管理者の集い	塩田先生	21人
11月25日(金)	高松短大 秘書課1～2年生(授業)	塩田先生	101人

(高松市より情報提供)

(3) 乳がん検診の普及啓発

当協会に事務局を置く「ピンクリボンかがわ県協議会」と共催し、10月の乳がん月間の期間中(10月3日～31日)、高松丸亀町老番街の三町ドームをピンク色にライトアップしました。3日の点灯式では、ピンクリボンにちなんだプロジェクションマッピングやミニライブ、啓発グッズの配布などを行い、乳がん検診の重要性を訴えました。

また、10月23日(日)には四国新聞社が主催・協議会が共催の「ピンクリボンいくしまウォーク&フェス」が開催され、協議会の事務局としてイベント運営を支えました。

このほか、“ディノス・セシールのピンクリボンデーin高松”(10月7日(金))に協力し、啓発グッズの展示販売やセミナーの講師などを務めました。

これらの啓発活動は、県や企業・団体、マスコミなど関係機関との連携により実施しています。

〈協力機関および参加団体〉

- ① 行政機関 (香川県健康福祉総務課)
- ② 医療機関 (香川県医師会、高松赤十字病院、久米川病院)
- ③ 企業 (香川県がん検診受診率向上プロジェクト推進企業グループ、三井生命保険株式会社、あなぶきグループ)
- ④ 団体 (がん患者会ネットワーク香川、高松中央ライオンズクラブ、キッズチアダンスチーム「Star Teens」、ガールスカウト香川県連盟、温心会)
- ⑤ マスメディア (四国新聞社、NICE TOWN、香川こまち、NHK、FM香川)

(4) 「かがわがんサミット」開催への協力

平成 29 年 1 月 22 日（日）「香川県」及び「がん患者会ネットワーク香川」主催による「かがわがんサミット」（会場：かがわ国際会議場ほか）が香川で初めて開催され、患者目線のがん対策についてパネルディスカッションが行われました。当協会からはパネリストとして参加し検診の重要性などについてアピールしたほか、会場の誘導係などの協力を行いました。

(5) 職域を対象にした働く人への普及啓発活動

当協会が実施する各種健康診断・各種がん検診（延べ約 12 万件）の約 70% を占める職域健診受診者に対しメタボリックシンドローム啓発ティッシュやリーフレットの配布を行ったほか、企業団体等へのポスターやリーフレットの配布を行いました。

また、香川県産業保健師会に協力し、9 月 13 日に開催された第 2 回産業看護研修会（会場：当協会会議室）において職域を対象とした啓発活動について情報提供しました。

(6) 健康づくりイベントへの協力

① 県が主催する「かがわ食育・地産地消フェスタ」（10 月 10 日）に協力し、健康づくりや健康診断に関する情報を楽しく学んでもらえるよう、「野菜を 1 日 350 g 以上食べましょう」の内容でブース出展を行いました。

② 東かがわ市の恒例イベントで約 5 万人の観光客が訪れる「引田ひなまつり」（2 月 25 日～3 月 3 日）に協力し、女性の健康週間（1 日～8 日）に合わせて 2 月 25 日・26 日の 2 日間、ピンクリボンの啓発ブースを出展し、約 500 人に啓発ティッシュやパンフレット等を配布し乳がん検診を呼びかけたほか、乳がんに関するクイズや「乳良く剤」のワークショップを行いました。

(7) 常設展示コーナーでの健康教育

別館 1 階に常設している展示コーナーにおいて、健診受診者や来場者に対し、食事バランスガイドによる食事内容の見直しや野菜摂取の提案・運動習慣の振り返りなどを行い、健康教育を実施しました。

2 調査研究事業について

(1) データ収集・精度管理事業を通じた情報発信

がんや生活習慣病の予防、メンタルヘルスについては、特に働く人々への対策が重要視されていますが、職域健診の受診状況は未だに十分把握されていないのが実情であることから、当協会が実施する約 8 万件（がん検診は延べ 5 万 2 千件）に上る職域健診の健診結果や保健指導結果について情報収集し把握に努めました。

また、がん検診については、精度管理が最も重要であることから、当協会のデータ管理システムを用いて、実施主体や医療機関との連携により精密検査結果の把握を推進するとともに、必要に応じて要精検者の追跡調査やがん患者の追跡調査（5 年間）などの各種

精度管理事業を行い、調査結果を実施主体など関係機関にフィードバックしました。

このほか、平成 28 年度は、特定健診：13,800 件、特定保健指導：動機づけ支援 293 件、積極的支援 150 件を実施しました。さらに、事業所及び職域健診：35,800 件、肺がん検診：32,500 件、胃がん検診：14,400 件、乳がん検診：6,650 件、子宮がん検診：6,750 件、前立腺検診：6,200 件、大腸がん検診：26,700 件、学校心電図検査（標準 12 誘導）：11,400 件の各検診・検査データ約 140,000 件を収集しました。

また、自治体や企業の担当者が必要とする情報を直接検索できるソフト（健診データ簡易検索システム）を昨年に引き続き 1 町 1 事業所に提供しました。今後も引き続き本ソフトの普及促進を図る予定です。

機器などの整備は、保健医療技術や情報技術などの進歩を踏まえ検診検査精度の維持向上・顧客サービスの向上及び業務効率化等に対応するために最新検査機器への更新を行いました。

(2) 「平成 27 年度事業報告書」の刊行

当協会の平成 27 年度事業報告書をまとめ関係機関に配布しました。この報告書は当協会が実施した新生児から後期高齢者までの幅広い健康診断等情報約 140,000 件の多岐にわたる検査項目を集計し結果を掲載したもので、県内の関係機関や県民の方々に報告書を通して情報発信するとともに関係機関との連携を深めました。

(3) 公益事業推進会議の開催

27 年度事業報告書の作成、がん検診の精度管理・追跡調査、公益事業の推進状況について、報告・協議を行いました。

- ① 2016 年度第 1 回公益事業推進会議の開催（4 月 28 日 15:30～ 管理棟 2 階会議室）
- ② 2016 年度第 2 回公益事業推進会議の開催（6 月 2 日 15:30～ 管理棟 2 階会議室）
- ③ 2016 年度第 3 回公益事業推進会議の開催（8 月 25 日 15:30～ 管理棟 2 階会議室）
- ④ 2016 年度第 4 回公益事業推進会議の開催（10 月 27 日 15:30～ 管理棟 2 階会議室）
- ⑤ 2016 年度第 5 回公益事業推進会議の開催（1 月 31 日 15:30～ 管理棟 2 階会議室）

(4) 健診の在り方検討委員会及び将来付け検討委員会の開催

当協会の基本理念に掲げた「公益 1 心と体の健康の保持及び増進事業」及び「公益 2 新生児の先天性代謝異常症の早期発見に必要な各種検査事業」を各部門で具体化し肉付けし、今後の新たな指針として活用することを目的に委員会を創設しました。検討会で提出された仕様書等をもとに、将来付け検討委員会において「予防医学協会健康管理センターの概要」を作成・職員に配布し、当協会が実施する事業について、職員間の情報共有を図りました。

- ① 第 1 回（7 月 25 日 15:30～）各部署の現状報告
- ② 第 2 回（8 月 29 日 15:30～）各部署による業務仕様書案の作成について
- ③ 第 3 回（9 月 27 日 15:30～）各業務仕様書案について意見交換
- ④ 第 4 回（10 月 31 日 15:30～）業務仕様書案再提出・意見交換

- ⑤ 第5回（12月1日 15:30～）業務仕様書・協会案内等の作成について
- ⑥ 第6回（1月19日 15:30～）研究会（第二回）の開催について
- * 将来付け検討委員会の開催（1月31日 16:00～ 管理棟2階会議室）

(5) 第2回香川県予防医学協会研究会」（平成29年2月20日）の開催

昨年に引き続き、当協会すべての職員を対象にした「第2回香川県予防医学協会研究会」を開催しました。これは大谷所長を中心にした内部研究会で、職員全体が調査研究事業に関わり発表することで職員の資質向上を図るためのものです。各種検診の多様化・高度化に対応できるよう検診検査技術や知識の向上に努めるとともに、専門知識を生かし情報発信できる体制づくりに努めました。

演 題	所属課 (科)	発表者
1 若年者に向けての子宮頸がん検査啓発のための おとな力アップ 出前講義の効果	診療科	露木佳子
2 飲酒とメタボリックシンドロームの関係について	施設健診科	秋山麻衣
3 眼底検査における動脈硬化所見の発現状況についての検討	施設健診科	松本導彦
4 胃内視鏡検査の実施状況について	施設健診科	松本幾子
5 胃内視鏡検査の効率的な運用について	施設健診科	山崎美幸
6 受付一覧の表示と料金の確認について	業務科	大野由季
7 検尿検査の採る時間と検査時間に対する検討	施設健診科	山上志保
8 腹部エコーで認められた尿路結石と生活習慣病との関連性	施設健診科	山地美佳
9 当施設での技師読影の現状について	放射線科	松井真澄
10 乳がん検診において自覚症状を訴えた受診者の検討	放射線科	土肥美佳

(6) 各種学会・研修会等への参加

昨年に引き続き、関係する学会・研修会等に積極的に職員を参加させ、職員の資質向上と医療技術への貢献に努めました。

開催日	研修会等の名称	部署
毎週	乳腺内分泌外科カンファレンス (香川大学がん会議)	医師、放射線科、 施設健診課
毎月	いけのべヘルスの会(香川大学公衆衛生学教室) 第80回～第90回	医師
隔月	香川県消化器画像研究会「オリーブ会」	放射線科
隔月	香川県放射線技師会「消化管部会」	放射線科
4月21日～24日	第68回日本産科婦人科学会学術講演会(於：東京都)	医師
4月24日	第40回香川県医学検査学会	検査科
5月29日～31日	第91回日本消化器内視鏡学会総会(於：東京都)	医師

6月18日	精度管理研修会（於：東京都）	施設健診科
6月22日	第1回香川県産業看護研修会	保健指導科
7月9日	富士フィルムメディカルセミナー2016in 高松 胃がん対策からみたこれからの内視鏡検査	施設健診科 看護師
7月28日～29日	第57回日本人間ドック学術大会（於：松本市）	医師、施設検査 技師
8月1日	ステップアップセミナー 超音波勉強会（於：東京都）	施設健診科
8月3日	保健指導実践者育成研修会（於：高松市）	保健指導科
8月7日	第1回日本消化器がん検診学会 中四国支部放射線技師研修会（於：岡山市）	放射線科
8月25日～26日	第34回全国情報統計研修会（於：横浜市）	業務課
9月13日	第2回香川県産業看護研修会（於：高松市）	保健指導科
10月8日	アークレイ臨床検査セミナー2016in 高松 尿検査データの有効活用	施設健診科
10月9日～12日	第92回日本消化器内視鏡学会総会（於：神戸市）	医師
10月29日	胃X線精度管理研究委員会 第26回学術集会（於：東京都）	放射線科
10月29日、30日	第10回日本禁煙学会学術総会（於：東京都）	公益推進課
11月4日～5日	第26回日本乳癌検診学会学術総会（於：久留米市）	放射線科
11月5日	腎・泌尿器検査研究会 2016in 香川（於：高松市）	施設健診科
11月18日	平成28年度予防医学事業推進中国・四国地区会議 （於：高知県）	医師
11月20日	日本人間ドック学会人間ドック健診情報管理指導士第 42回ブラッシュアップ研修会（於：大阪市）	医師
12月4日	超音波セミナー消化器領域講座（於：大阪市）	施設健診科
12月10日～11日	第47回日本消化器がん検診学会 中国四国地方会（於：倉敷市）	放射線科
12月10日	富士メディカルセミナー2016in 高松	放射線科
12月10日	富士フィルムメディカルセミナー2016in 高松	施設健診科
1月19日	香川県肺がん検診従事者講習会（於：高松市）	放射線科
1月22日	乳房超音波セミナーアドバンス編（於：高松市）	施設健診科
1月26日～27日	平成28年度技術研修会 尿検査研修会（於：東京都）	検査科
1月27日～28日	第45回日本総合健診医学会総会（於：浦安市）	医師
1月28日	第2回四国消化管造影懇話会（於：松山市）	放射線科
2月1日	保健指導実践者スキルアップ研修会（於：高松市）	保健指導科
2月2日	胃がん検診症例検討会（於：高松市）	放射線科
2月5日	胃X線撮影基礎講習会（於：高松市）	放射線科

2月9日～10日	平成28年度全国業務研修会（於：甲府市）	業務課
2月10日	一般検査研修会 尿試験紙の偽陽性反応・尿中赤血球の鑑別（於：高松市）	施設健診科
2月10日	第108回香川県腹部超音波研究会（於：高松市）	施設健診科
2月11日	デジタルマンモグラフィ技術講習会（於：松山市）	放射線科
2月11日～12日	第7回乳房超音波技術講習会（於：東京都）	施設健診科
2月22日～24日	第51回予防医学技術研究会議（於：広島県）	検査科・放射線科
2月25日～26日	平成28年度日臨技・香臨技主催「検査説明・相談が出来る臨床検査技師育成講習会」（於：高松市）	検査科
3月4日	日本マス・スクリーニング学会 技術部会第35回研修会（於：岡山県）	検査科 施設健診科
3月16日	マンモグラフィ検診症例検討会（於：高松市）	放射線科
3月26日	精度管理研修会（於：高松市）	検査科

(7) 学会発表など

昨年に引き続き、当協会が収集したデータをもとに学術研究を行い、その成果を関係する学会・研究会等の症例検討や研究論文等に発表し、医療技術の向上や地域社会への貢献に役立てました。

学会	学術発表等の演題名	発表者
第24回日本乳癌学会 （於：東京都） （6月16日～18日）	<ul style="list-style-type: none"> ・進行乳癌に対するエベロリムス投与の検討 ・denosumab投与を行った乳癌骨転移症例に対する検討 ・転移性乳癌の化学療法反応性と予後に関する検討：各サブタイプ間の比較 	大谷昌裕 （共同演者）
第57回日本人間ドック学会総会（於：松本市） （7月28日～29日）	・採血業務に関する検討	岡田麻由美
	・検診直後の二次検査で診断されなかった乳癌症例の検討	大谷昌裕
日本乳癌学会中国地方会 （於：松山市） （10月1日～2日）	<ul style="list-style-type: none"> ・当院における乳癌骨転移症例の検討 ・薬物療法中に間質性肺炎を発症した乳癌症例6例の検討 	大谷昌裕 （共同演者）
第75回日本公衆衛生学会 （10月27日）	・我が国のウイルス性肝炎患者の効用値推定	大谷昌裕 （共同演者）
第10回日本禁煙学会学術総会（於：東京都） （10月29日～30日）	<ul style="list-style-type: none"> ・スモークフリーレストランを各地で拡げるためのいくつかの工夫 ・行政とコラボした、禁煙、防煙、受動喫煙などの出前講座の試み 	森田純二

第 45 回日本総合健診医学 総会(於：東京) (1月 27 日)	採血ラベル出力機器導入前後の検討について	山津美穂
第 51 回予防医学技術研究 会議(於：広島市) (2月 22 日～24 日)	当協会受診者における推算糸球体濾過量 eGFR に 関する検討	齋藤政宏

公益事業 2：新生児の先天性代謝異常の早期発見に必要な各種検査事業

1 先天性代謝異常検査（タンデムマス法を用いたマス・スクリーニング検査）

当協会は県内唯一の新生児先天性代謝異常の検査機関として、香川県をはじめ県下医療機関の協力のもと平成 28 年度は再検査 590 件を含む 8,527 件（参考：平成 27 年度県内妊娠届出数 7,699 人）の受託検査を実施いたしました。

タンデムマス法により、従来から行われていたフェニルケトン尿症など 4 つの代謝異常症及びクレチン病など 2 つの内分泌疾患に加え、その他の代謝異常疾患（13 疾患）の全 19 疾患の検査が実施できるようになり検査精度も向上しました。検査の結果、疑陽性の約 3% には再検査を行い要精密検査者（0.3%程度）については県子育て支援課を通して精密検査結果聞き取り調査を行っています。

平成 26 年度分の聞き取り調査によりクレチン病 4 人、先天性副腎過形成症 2 人が発見されたことが判明しました。（詳細は事業報告書に掲載）

今後も検査精度の維持向上に努め、先天性代謝異常疾患の早期発見並びに早期治療に努めてまいります。

以上